

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成19年12月12日
【事業年度】	第52期（自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）
【会社名】	サンセイ株式会社
【英訳名】	SANSEI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小嶋 敦
【本店の所在の場所】	大阪市淀川区西宮原一丁目6番2号
【電話番号】	06（6395）2231（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 深牧 公和
【最寄りの連絡場所】	大阪市淀川区西宮原一丁目6番2号
【電話番号】	06（6395）2231（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 深牧 公和
【縦覧に供する場所】	サンセイ株式会社東京支社 （東京都千代田区飯田橋四丁目7番10号 飯田橋セントラルビル） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成19年6月28日に提出いたしました第52期（自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日）有価証券報告書の記載事項につきまして一部に訂正を要する箇所がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

(1) 連結経営指標等

第2 事業の状況

7 財政状態及び経営成績の分析

(2) 資産・負債・資本の状況

(連結財政状態)

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は、_____線で示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等
(訂正前)

回次	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
決算年月	平成15年3月期	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期
売上高(千円)	5,042,519	5,175,051	4,984,595	4,580,491	5,202,644
経常損益(千円)	45,493	△93,552	△46,322	238,175	417,791
当期純損益(千円)	134,726	△102,305	△129,900	78,946	255,662
純資産額(千円)	1,011,584	920,426	782,644	906,054	1,210,424
総資産額(千円)	5,872,655	5,805,592	5,390,034	5,299,052	5,324,302
1株当たり純資産額(円)	114.08	103.80	87.39	100.84	134.71
1株当たり当期純損益金額(円)	15.19	△11.54	△14.57	8.79	28.45
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額(円)	—	—	—	—	—
自己資本比率(%)	17.2	15.8	14.5	17.1	21.8
自己資本利益率(%)	14.2	—	—	9.4	24.7
株価収益率(倍)	4.15	—	—	18.09	4.57
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	605,747	△89,666	139,826	471,727	101,699
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	△39,693	△23,043	△3,158	△14,369	△9,538
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	△384,241	22,556	△78,815	△396,081	△214,811
現金及び現金同等物の期末残高(千円)	475,798	382,632	439,324	505,489	385,759
従業員数(人)	322	316	307	303	297

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、第48期及び第51期は新株引受権に係るプレミアムが生じていないため、第49期及び第50期は1株当たり当期純損失であるため、第52期は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 第49期及び第50期の自己資本利益率及び株価収益率は、当期純損失を計上しているため記載しておりません。

(訂正後)

回次	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期
決算年月	平成15年3月期	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期
売上高(千円)	5,042,519	5,175,051	4,984,595	4,580,491	5,202,644
経常損益(千円)	45,493	△93,552	△46,322	238,175	417,791
当期純損益(千円)	134,726	△102,305	△129,900	78,946	255,662
純資産額(千円)	1,011,584	920,426	782,644	906,054	1,210,424
総資産額(千円)	5,872,655	5,805,592	5,390,034	5,299,052	5,324,302
1株当たり純資産額(円)	114.08	103.80	87.39	100.84	<u>129.16</u>
1株当たり当期純損益金額(円)	15.19	△11.54	△14.57	8.79	28.45
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額(円)	—	—	—	—	—
自己資本比率(%)	17.2	15.8	14.5	17.1	21.8
自己資本利益率(%)	14.2	—	—	9.4	24.7
株価収益率(倍)	4.15	—	—	18.09	4.57
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	605,747	△89,666	139,826	471,727	101,699
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	△39,693	△23,043	△3,158	△14,369	△9,538
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	△384,241	22,556	△78,815	△396,081	△214,811
現金及び現金同等物の期末残高(千円)	475,798	382,632	439,324	505,489	385,759
従業員数(人)	322	316	307	303	297

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、第48期及び第51期は新株引受権に係るプレミアムが生じていないため、第49期及び第50期は1株当たり当期純損失であるため、第52期は潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 第49期及び第50期の自己資本利益率及び株価収益率は、当期純損失を計上しているため記載しておりません。

第2【事業の状況】

7【財政状態及び経営成績の分析】

(2) 資産・負債・資本の状況

(連結財政状態)

(訂正前)

	平成18年3月期	平成19年3月期	増 減
総資産額 (百万円)	5,299	5,324	25
自己資本 (百万円)	906	1,160	254
自己資本比率 (%)	17.1	21.8	4.7
1株当たり純資産額 (円)	100.84	<u>134.71</u>	<u>33.87</u>

総資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円増加して、5,324百万円となりました。これは、売掛金が大きく増加したものの、たな卸資産や預金などが減少したため、小幅な増加になりました。

また純資産は、当社をはじめ子会社の業績回復により、前連結会計年度末に比べ254百万円増加の1,160百万円となりました。この結果、1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べ33.87円増加して134.71円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の17.1%から21.8%に上昇いたしました。

(訂正後)

	平成18年3月期	平成19年3月期	増 減
総資産額 (百万円)	5,299	5,324	25
自己資本 (百万円)	906	1,160	254
自己資本比率 (%)	17.1	21.8	4.7
1株当たり純資産額 (円)	100.84	<u>129.16</u>	<u>28.32</u>

総資産は、前連結会計年度末に比べ25百万円増加して、5,324百万円となりました。これは、売掛金が大きく増加したものの、たな卸資産や預金などが減少したため、小幅な増加になりました。

また純資産は、当社をはじめ子会社の業績回復により、前連結会計年度末に比べ254百万円増加の1,160百万円となりました。この結果、1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べ28.32円増加して129.16円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の17.1%から21.8%に上昇いたしました。

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

注記事項

(1株当たり情報)

(訂正前)

前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
1株当たり純資産額	100.84円	1株当たり純資産額	134.71円
1株当たり当期純利益	8.79円	1株当たり当期純利益	28.45円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。		同左	

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
当期純利益(千円)	78,946	255,662
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	78,946	255,662
期中平均株式数(株)	8,979,000	8,984,862
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	旧商法に基づく新株予約権	—

(注) 2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (平成18年3月31日)	当連結会計年度末 (平成19年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	—	1,210,424
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	—	1,210,424
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	—	8,984,862

(訂正後)

前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)	
1株当たり純資産額	100.84円	1株当たり純資産額	129.16円
1株当たり当期純利益	8.79円	1株当たり当期純利益	28.45円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。		同左	

(注) 1. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)
当期純利益(千円)	78,946	255,662
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	78,946	255,662
普通株式の期中平均株式数(株)	8,979,000	8,984,862
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	旧商法に基づく新株予約権	—

(注) 2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (平成18年3月31日)	当連結会計年度末 (平成19年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	—	1,210,424
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	49,952
(うち新株予約権)	(—)	(—)
(うち少数株主持分)	(—)	(49,952)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	—	1,160,472
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	—	8,984,862